

特集

地球温暖化対策，環境対策

巻頭言

- 4 利己的に考えても企業は積極的に気候変動対策を
沖 大幹 東京大学 総長特別参与，サステイナビリティ学連携研究機構 教授

行政情報

- 5 建設施工分野における地球温暖化対策
北川 順 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室 課長補佐

- 10 気候変動への適応
気候変動がもたらす我が国の危機に総力で備える

東 佑亮 国土交通省 総合政策局 環境政策課 課長補佐

- 14 再生可能エネルギーの主力電源化に向けて

外山 喜彦 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課 課長補佐
山同 康太 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課 係長

特集・
技術報文

- 22 下水道法改正後大規模な地域全体の下水熱回収システム導入
長野県諏訪市の地域災害拠点病院におけるエネルギーサービス事業

柘植 康司 ㈱シーエナジー 技術部 設計課 課長補佐

- 27 養液循環型栽培方式による省管理型壁面緑化システムの開発

屋柘下 亮 大成建設㈱ 技術センター 主席研究員
江木 和泉 中国電力㈱ エネルギー総合研究所 研究員

- 32 地中熱交換器内蔵既製コンクリート杭
適応性及び環境性に優れた地中熱交換杭「Hybrid Pile MS」の共同開発

賀川 昌一 三谷セキサン㈱ 開発営業部 統括部長

- 36 乾燥スラッジ微粉末を用いた低炭素コンクリートの開発

百瀬 晴基 鹿島建設㈱ 技術研究所 建築生産グループ 主任研究員
大川 憲 三和石産㈱ テスティング事業部 品質管理課長
笠井 哲郎 東海大学 工学部土木工学科 教授

- 41 環境に配慮したダム設備冷却システム

アースカラークールシート
黒川 晋平 王子キノクロス㈱ 営業部 副部長

- 45 紙素材の土木現場への適用

岩井 一将 王子ホールディングス㈱ イノベーション推進本部 パッケージング推進センター 販売戦略室

- 51 掘削段階に応じたトンネル発破音低減システムの開発
ANCによる低周波音局所制御システムと多孔質材による可聴音低減システム

阿部 将幸 ㈱フジタ 建設本部 建築エンジニアリングセンター 環境技術部 主任

- 56 アクティブノイズコントロールを用いた建設騒音の低減技術
ミュート，ミュートハイブリッドパネルの開発

太田 稔 村本建設㈱ 技術開発部 課長
林 学 村本建設㈱ 技術開発部 部長
梅田 克剛 村本建設㈱ 建設環境事業部 チームリーダー

- 63 オンサイトにて重金属汚染土壌の全量再生を実現する
M・トロン

荒崎 拓也 鹿島建設㈱ 環境本部 環境リノベーショングループ 課長代理
伊藤圭二郎 鹿島建設㈱ 技術研究所 岩盤・地下水グループ 上席研究員
石神 大輔 鹿島建設㈱ 技術研究所 岩盤・地下水グループ 研究員

	68	大豆ホエーを用いたバイオレメディエーション技術 田中 宏幸 (株)鴻池組 土木事業統括本部 技術本部 環境エンジニアリング部 課長 芦田 茂 不二製油グループ本社(株) 事業開発部門 大豆・機能性素材グループ マネージャー
	72	オフロード法適合車の開発 トンネルずり出し用重ダンプトラックの紹介 宮下 哲 (株)前田製作所 産業機械本部 技術部 部長 前崎 純一 (株)前田製作所 産業機械本部 技術部 設計1課 課長 村田 貴大 (株)前田製作所 産業機械本部 技術部 設計1課
	76	フィールドビューモニタ「FVM2」周囲監視装置 加藤 英彦 住友建機(株) 技術本部 技術部 電気制御グループ GL 清田 芳永 住友重機械工業(株) 技術本部 技術研究所 情報通信技術 G 主任研究員
交流のひろば	83	地球温暖化防止活動の取組状況 木場 和義 (一社)地球温暖化防止全国ネット(全国地球温暖化防止活動推進センター) 事務局次長
ずいそう	86	建機ミニチュアの世界 杉山 誠 建機ミニチュア博物館 館長
	88	雲海を求めて 神田 昭憲 (株)西島製作所 広島支店長
部会報告	90	ISO/TC 195 ドイツ・ハンブルク国際会議 及び CEN/TC 151/WG 8 フランクフルト会議報告 標準部会
	103	九州新幹線 ^{そのま} 彼杵川橋りょう工事 見学会報告 機械部会
	105	新工法紹介 機関誌編集委員会
	107	新機種紹介 機関誌編集委員会
統計	110	建設工事受注額・建設機械受注額の推移 機関誌編集委員会
	111	行事一覧 (2018年12月)
	120	編集後記 (加藤・川井)

◇表紙写真説明◇

秋田国見山第一風力発電所における風力発電設備の建設工事

写真提供：くろしお風力発電(株)

秋田市南部の市民の森周辺に建設された1基あたり最大出力1990kWの風力発電機(ブレード直径82m、高さ119m)。写真は1200t吊りオールテレーンクレーンを用いて地上でブレードを組み立てた後に一括で発電機に取り付ける作業状況である。秋田県では2017年度末時点で全国2位となる約37万kWの陸上風力発電所が稼働しており、今後も導入拡大が期待されている。

2019年(平成31年)2月号PR目次
【ア】
(株)アイテック……………後付3
朝日音響(株)……………後付1

【カ】
コベルコ建機(株)……………表紙2
【サ】
サイテックジャパン(株)……………表紙4

【タ】
デンヨー(株)……………後付2
大和機工(株)……………表紙3
【マ】
マルマテクニカ(株)……………後付5

三笠産業(株)……………後付6
(株)三井三池製作所……………表紙3
【ヤ】
吉永機械(株)……………後付3